

蒲田映画の若き日——小津・清水・成瀬

フィルムセンターでは昨年秋、「日本映画史研究(3)——蒲田映画の世界〈1921～1936〉」と題して、松竹蒲田作品の特集上映を行いました。これは、1920年6月の製作開始から1936年1月の大船移転までの16年間におよそ1,200本の映画を銀幕に送り続け、世に〈蒲田調〉という言葉まで生み出し、日本の現代映画の大きな源となった蒲田撮影所の作品を、所蔵する代表作で史的に辿りつつその映画世界の豊かさに触れようとする試みでした。同時にそれは、嘗ての日本映画がどのように〈現代〉—今日—一般にモダニズムとして括られる時代—を描いたかを知る絶好の機会でもありました。しかし前回の特集では、やむなく割愛した作品や、一度しか上映できなかった戦後初公開作が少なからずあり、また非常に好評を博した番組も多く、それらの新たな上映、アンコール上映の意味も含めて、ここに再び蒲田映画の小特集を企画致しました。今回は当時の蒲田撮影所にあつて新進の青年監督であつた、後年の大監督三人——小津安二郎(26～33歳)、清水宏(26歳～32歳)、成瀬巳喜男(26歳～29歳)の作品にテーマを絞り、それぞれが独特の個性を競いながら映画のハーモニーを奏でていた〈蒲田映画の若き日〉に着目しています。現存する内で最も古い三人の作品がいずれも各々26歳の時に監督したものであるという事実も、あるいは何かの符合なのかも知れません。なお、上映フィルムは当センターが所蔵する小津・清水・成瀬の蒲田時代の全作品であり、三監督の個別研究、比較研究にも充分資するものであらうと思われまふ。前回御覧になれなかつた方々をはじめ、広く映画研究者・愛好家の皆様のご鑑賞をお勧め致します。

1987年3月 フィルムセンター

- 上映は竹橋の東京国立近代美術館講堂で行います。当会場へは地下鉄東西線・竹橋駅下車、竹橋方面・毎日新聞社出口が便利です。
- 上映は土曜日・日曜日の午後1時と午後3時から行い、それぞれ入れ替え制です。但し、5月3日(日)、10日(日)の1回目は、午後12時30分より上映致します。
- 開場は上映開始の30分前で、先着順にて定員270名に達し次第締め切ります。
- 前集より入場料金が、一般350円、学生230円、小人170円にそれぞれ改定されます。この料金は当日1回の上映にのみ有効です。
- 5月23日(土)、24日(日)は休館です。
- S印は無声版、SD印はサウンド版です。

日	時	題	名	製作年	出	演	者
---	---	---	---	-----	---	---	---

〔小津安二郎監督作品〕

4月18日(土)	1:00	若き日(S・103分)		1929年	結城一朗、斎藤達雄、松井潤子、飯田蝶子、高松栄子
	3:00	朗かに歩め(S・96分)		1930年	高田稔、川崎弘子、松園延子、鈴木歌子、伊達里子
19日(日)	1:00	大学は出たけれど(S・11分)		1929年	高田稔、田中絹代、鈴木歌子、大山健二、日守新一
	3:00	落第はしたけれど(S・64分)		1930年	斎藤達雄、二葉かほる、田中絹代、月田一郎、笠智衆
25日(土)	1:00	その夜の妻(S・65分)		1930年	岡田時彦、八雲恵美子、市村美津子、山本冬郷、斎藤達雄
	3:00	東京の合唱(S・90分)		1931年	岡田時彦、八雲恵美子、菅原秀雄、高峰秀子、斎藤達雄
26日(日)	1:00	淑女と髯(S・74分)		1931年	岡田時彦、川崎弘子、飯田蝶子、伊達里子、月田一郎
	3:00	生れてはみたけれど(S・90分)		1932年	斎藤達雄、吉川満子、菅原秀雄、突貫小僧、坂本武
5月2日(土)	1:00	青春の夢いまいづこ(S・85分)		1932年	江川宇礼雄、田中絹代、斎藤達雄、武田春郎、飯田蝶子
	3:00	非常線の女(S・100分)		1933年	田中絹代、岡譲二、水久保澄子、三井秀男、逢初夢子
3日(日)12:30	1:00	出来ごころ(S・100分)		1933年	坂本武、伏見信子、大日方伝、飯田蝶子、突貫小僧
	3:00	東京の女(S・47分)		1933年	岡田嘉子、江川宇礼雄、田中絹代、奈良真養
9日(土)	1:00	母を恋はずや(S・72分)		1934年	岩田祐吉、吉川満子、大日方伝、三井秀男、光川京子
	3:00	浮草物語(S・86分)		1935年	坂本武、飯田蝶子、三井秀男、八雲理恵子、坪内美子
9日(土)	1:00	東京の宿(SD・80分)		1935年	坂本武、岡田嘉子、突貫小僧、飯田蝶子、小嶋和子
	3:00	一人息子(82分)		1936年	飯田蝶子、日守新一、坪内美子、笠智衆、葉山正雄

〔清水宏監督作品〕

5月10日(日)12:30	1:00	七つの海・前後篇(S・127分)		1931/32年	岩田祐吉、若水絹子、川崎弘子、岡譲二、高峰秀子
	3:00	不壊の白珠(S・100分)		1929年	八雲恵美子、高田稔、及川道子、新井淳、小村新一郎
16日(土)	1:00	泣き濡れた春の女よ(96分)		1933年	大日方伝、岡田嘉子、小倉繁、村瀬幸子、石山龍二
	3:00	港の日本娘(S・71分)		1933年	及川道子、井上雪子、江川宇礼雄、沢蘭子、逢初夢子
17日(日)	1:00	大学の若旦那(SD・85分)		1933年	藤井貢、武田春郎、坪内美子、水久保澄子、大山健二
	3:00	東京の英雄(SD・64分)		1935年	藤井貢、桑野通子、三井秀男、岩田祐吉、吉川満子

〔成瀬巳喜男監督作品〕

5月30日(土)	1:00	腰弁頑張れ(S・28分)		1931年	山口勇、浪花友子、加藤精一、明山静江、関時雄
	3:00	君と別れて(S・60分)		1933年	吉川満子、磯野秋雄、水久保澄子、河村黎吉、突貫小僧
31日(日)	1:00	生さぬ仲(S・78分)		1932年	奈良真養、筑波雪子、岡田嘉子、葛城文子、小島寿子
	3:00	夜ごとの夢(S・64分)		1933年	栗島すみ子、斎藤達雄、新井淳、吉川満子、小島照子
	3:00	限りなき舗道(S・87分)		1934年	忍節子、磯野秋雄、山内光、若葉信子、葛城文子

会場 東京国立近代美術館・講堂 千代田区北の丸公園3 地下鉄・竹橋(東西線)下車
 お問い合わせ 東京国立近代美術館フィルムセンター 中央区京橋3-7-6 ☎561-0823